

令和2年度 壬生町立安塚小学校 学校経営計画

I 学校教育目標：目指す児童の姿

- やさしい子：他の人の気持ちを思い、寄り添って支え合える子ども
- すなおな子：明るく、誠実に役割を果たそうとする子ども
- つよい子：心身ともに健康で、生き生きと活動する子ども
- かんがえる子：夢に向かって、進んで学習する子ども

II 目指す児童の姿実現のための努力目標

- 1 やさしい子、すなおな子（豊かな心）
 - きちんとした生活習慣、生活態度を身に付ける。
 - 友だちを思いやり、仲良く助け合うことができる。
 - 命あるものや公共物を大切にできる。
 - 集団の一員を自覚し、行動できる。
- 2 つよい子（健やかな体）
 - めあてに向かって、ねばり強く体力づくりができる。
 - 健康・安全に留意して、生活することができる。
- 3 かんがえる子（学ぶ力）
 - 自ら課題を見つけ、進んで学習できる。
 - 学び方を身に付けることができる。
 - 自分の思いや考えをいきいきと表現できる。

III 学校経営の指標 『健やかな心と体、確かな学びをはぐくむ』

IV 指導理念 生きていくための基礎・基本を育てる ～相互信頼、安全安心、凡事徹底～

V 目指す教師像

- 1 児童一人一人の特性を大切にし、信頼される教師
- 2 広い視野と豊かな情操をもつ教師
- 3 課題意識をもって自主研鑽に励み、自己を磨く教師
- 4 明朗で協調性をもち、協働する教師

VI 学校経営の方針

- 1 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- 2 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- 3 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- 4 教育環境の整備と安心・安全で信頼される学校づくり
- 5 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

Ⅶ 指導の重点

1 心の教育の充実 やさしい子、すなおな子（豊かな心）

- (1) 「人格の基盤」となる「道徳性」を育てる道徳教育の意義、その要となる「道徳の時間」の在り方について十分な理解を深め、「考え議論する道徳」を実践する。
- (2) 互いの特徴・個性を認め合う温かい人間関係を基盤とした、「居がい」のある学級経営に努める。
- (3) 基本的生活習慣・行動様式を定着させる。
(「よい子の生活」・みぶっ子7か条・論語・「挨拶・返事・靴揃え」)
- (4) 自然・人・ものを敬い思いやる心の醸成を図るための体験活動を重視する。
(福祉・環境・栽培)
- (5) 集団活動の楽しさ、喜び、思いやりを感得できるふれあい班活動、児童会活動、縦割り班活動、ひいらぎ集会を充実させる。
- (6) いじめを撲滅し、安全安心な環境作りを目指した生徒指導に努める。
- (7) 教育相談の充実、問題行動の早期発見と早期対応の体制作りに努める。
- (8) 本物の芸術に触れ、情操を培う学校行事の推進に努める。
- (9) 日頃から音楽に親しませ、歌声や音楽が響く環境作りに努める。

2 体力向上と保健安全教育の推進 つよい子（健やかな体）

- (1) 教科体育及び体力を培う運動を充実させる。
(安小タイム、ボルダリングボードの活用)
- (2) 行事等との関連を持たせた自主的・継続的な体力作りに努める。
(陸上記録会、縄跳び検定)
- (3) 保護者、安全支援ボランティアと連携し、安全な登下校と交通事故防止に努める。
- (4) 縦割り班清掃、無言清掃を実施し、安全で美しく清潔な学校環境作りに努める。
- (5) 健康・安全・食育に関する指導を充実し、自分の体を健康、安全に維持する自己管理能力・自己防衛力の育成に努める。

3 学力の向上 かんがえる子（学ぶ力）

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、個に応じた主体性と協働的に学ぶ力を充実した基礎・基本の定着を図るための授業の実践に努める。
- (2) 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育む「表現活動」の充実に努める。
- (3) 児童一人一人の実態を考慮した特別支援教育、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた学習指導の工夫に努める。
- (4) 豊かな心を育む読書活動の推進と図書館活動の充実による読書力向上に努める。
- (5) 学校での学習活動と家庭学習の連動・充実に努める。
- (6) コミュニケーション能力の基礎を培う外国語活動の充実に努める。
- (7) 思考力や表現力を育むための実践を吟味した総合的な学習の時間の実施に努める。
- (8) 社会的・職業的自立に向けての基盤となる資質・能力の育成を目指したキャリア教育の推進に努める。(キャリアパスポートの導入)
- (9) 情報教育の充実に努める。
(視聴覚教材の活用 PCリテラシー・情報モラルの向上)
- (10) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- (11) 地域の特色を生かした体験活動の充実に努める。

4 地域に信頼される開かれた学校作り

- (1) 学校運営協議会、学校支援ボランティア、安全支援ボランティア、地域コミュニティの有効活用に努める。
- (2) 授業参観、ホームページ、各種便り等を活用した開かれた学校作りに努める。
- (3) 学校評価を適切に実施し、結果を有効に活用した学校運営の改善と特色ある学校作りに努める。